



作新学院大学まちづくり研究会（代表・経営学部3年・星野賢樹）は、福島県地域振興課からの委託を受け、「大学生の力を活用した集落復

大学生による
集落復興支援事業

伝統芸能の里にて

興支援事業」に取り組んでいきます。場所は福島県郡山市の東部、柳橋地区です。人口800人ほどの農村集落ですが、全国に50程しかない農村歌舞伎の伝統を持つ伝統芸能の里です。私たちは9月14日の歌舞伎公演に向けて舞台や会場の設営をお手伝いする一方、地域の課題や資源について住民の方々と語り合うワークショップ



を進めてきました。すでに3回行い、将来の地域振興に向けての地域の可能性を引き出す活動をしています。事業度は2年続く予定で、今年度は事業計画、来年度は事業の試行を行う予定です。初めて見た歌舞伎公演は、本格的な

もので驚きました。また一生懸命、会場設営や撤収のお手伝いをしたことで、地域の方々の信頼をいただいたようです。地域の方のお宅に民泊させていただくながらのワークシヨップは順調に進んでいます。

『大作・短作』地域協働広報センター開設

地域との絆を

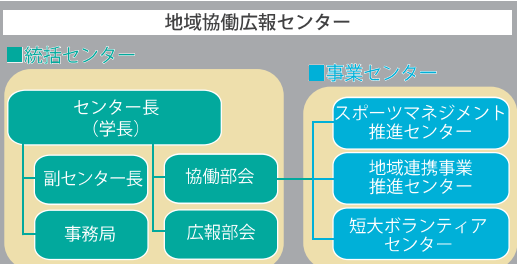
10月1日に、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 地域

協働広報センターが開
設されました。従来の
地域連携支援センター
を増強する形で、地域
に対する総合窓口機能
を担います。地域協働
期大学部 ボランティア

「スポーツマネジメント
推進センター」(センター
長＝小山さなえ経営学
部准教授)では、栃木
SC(サッカー)、リン
ク栃木(バスケットボー

アセンター」という3つの附属部署が設けられています。

ル)、日光アイスバックス(アイスホッケー)、宇都宮ブリッツェン(自転車)の4つのプロスポーツチームに加え、栃木県経済同友会、栃木県、宇都宮市、日光市、佐野市などが協力して、スポーツによる地域振興や人材育成への取り組みがスタートします。栃木発の新しいスポーツビジネスモデルの誕生と発展に、地域からも多くの期待が寄せられています。



祭新作

11/8(土)・9(日) 10:00～19:00



た方にはもちろん、参加者や作新祭実行委員にも楽しんでもらえるような特別な作新祭にしたいと思います。

からのおもてなし「Project Earth」です。そして、テーマカラーは青です。これらを掲げて、廃材アートやコスプレ大会などを企画しています。また、昨年に引き続きチャリティーバザーやビンゴ大会、アーティストライブ、お笑いライブ、バルーンパフォーマンスキッズパークなどの企画もしています。さらに、同窓会によるホームカミングデー、各団体による模擬店、ステージ発表、教室展示、各ゼミナールによる研究発表なども開催されます。今年の作新祭は25回目という節目にあたるため、一昨年と去年に積んだ経験を集大成して取り組みたいです。加えて、来場なさ

今年度の作新祭の
スローガンは「作新

第25回
作新祭
11.8+9日



作大・作短広報新聞

燦

KIRARI

10月 13日

發行

作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部

〒321-3295 栃木県
宇都宮市竹下町908
電 話 028-667-7111
FAX 028-667-7110

編集兼発行人 橋立 達夫
編 集
作新PRIDEプロジェクトチーム

お電話相談窓口はこちら
大学・短大 TEL028-670-

総務課(総務関係・施設貸出)	3600
会計課(学納金・経費支払等)	3621
施設課(建物・施設管理)	3631
入・広報課(受納相談・資料請求)	3655
教務課(入試試験・各種証明発行)	3642
学生課(奨学金・学生生活相談)	3641
チャ・就業支援(入居依頼・就職についての相談)	3645
図書館(図書館の所蔵・貸出し)	3652
学修支援室(学内ネットワーク・情報機器の管理)	3616
地域協働企画センター(大学内研究開発)	3614

HEADLINE

地域協働広報センター開設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔1頁〕

大学生による集落復興支援事業／第25回作新祭・・・・・・・・・・〔1頁〕

オープンキャンパスを繰返して／作短1年生幼稚園実習・・・・・・〔2頁〕

文藝サークル短編作品を傑出した／あわせ・・・・・・・・・・・・・〔2頁〕

新遠野物語・その参・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔3頁〕

経営学部　フィールドワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔3頁〕

キャンパス散策／キャリア・就職支援課たり・・・・・・・・・・・・・・〔4頁〕

イベントスケジュール10・11月 編集後記／クイズ・・・・・・・・・・〔4頁〕

ホーページ
アドレコ

<http://www.sakushin-u.ac.jp/>

オープンキャンパスを終えて

入試・広報部長
荒木直秀

7月26・27日及び、8月23日にオープンキャンパスを開催しました。ご協力くださいました教職員、ならびに学生諸君の健闘に感謝いたします。

おかげさまで、3日合わせると1,000人を超える来場者を迎え、昨年比で200名弱の増員となりました。中には青森県から駆けつけたという高校3年生も

いて、本学の学びの特色に耳を傾けてくれました。

本学の特色を活かした模擬授業、学部ごとの進学相談、資格支援講座セミナー他、各種イベントも盛況で7月26日の特別イベントでは、本学経営学部が制作から携わっている、栃木テレビにて放送中の実写ヒーロー番組「雷様剣士ダイジ」

の出演者と主題歌を歌っている篠原宣義さん(本学の卒業生)が登場、27日にはプロバスケットボールチーム「リンク栃木ブレックス」の熊谷尚也選手のトークショーと来場者を盛り上げてくれました。また、学食体験も



前年比+100名と多くの来場者がランチに満足したようで、本学を十分に堪能していただけとうです。この成果を来年度入試に繋げるため、尚一層の努力をしていきますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

作短1年生が初の幼稚園実習

— あこがれの現場で「がんばるぞー!」—

短大

9月2日から、作短1年生の13日間の幼稚園実習がスタートしました。今年の4月に入学した1年生にとって、これが初めての実習ということになります。半年前には高校生だった学生にとって、期待と緊張に満ちた初実習なのです。この幼稚園実習は、幼稚園教



育の現場で子どもたちと直接触れ合うのと同じ、幼児教育者という仕事の魅力と厳しさを学ぶ大切な機会です。実習生は、幼稚園では人気者です。かわいい笑顔の園児たちから「せんせい!」と叫びかけられる時、学生たちは「うれしい」と思うと同時に「幼児教育者の責任

の重さ」を感じます。そんな「せんせい!」と呼ばれる背筋が伸びる体験を通して、学生たちはグングンと成長していくのです。まだ幼児教育者としての勉強をスタートさせたばかりの学生が現場での実習を行えるのは、実習先の幼稚園の先生方の深いご理解とご指導のおかげです。幼児教育科の教員はみな、実習先の先生方に深く感謝しています。

僕のしあわせ

人間文化学部3年

咲 初俣(ペンネーム)

「好き」

彼女の声が心地良い。

「好きよ」

僕はそれに笑って応える。同じ言葉を使って。

「好きなの、とても」

初夏の風が彼女の髪を靡かせる。一度短く切った髪は、この半年で伸びていた。

僕も彼女を愛している。こんなに愛しいと思える人が出来て幸せだ。

僕と彼女は遠距離恋愛で、でも心はいつでも近くにあったと思う。

作大・作短
文芸サークル短編作品
第3作

時々、彼女が僕の元に来て。時々、僕が彼女の元に行き。小さな小さな幸せをかみ締めていた。

大きな幸せなんて望まなかった。だって、大きな幸せを望んでも、きっとこの幸せには叶わないと知っていたから。

「ねえ」

彼女が腕に抱えていた花束を届け終わったようだ。

「私、まだ、まだまだ、あなたのこと好きよ」

僕も、まだまだ伝えきれないくらい、君が好きだよ。

「なのに、どうして」

僕の前にしゃがみ込んだ彼女は両手で顔を覆った。

「私たちは離れてしまったの」

遠距離恋愛。とてもとても、つらい。

でも、会える日を楽しみにして、毎日生きているのは楽しかった。

「あのとき、私が、あなたの元へ行っていたら」

そんなこと言わないで。

あのとき、僕は確かに彼女に会いに行った。彼女と会って、とても楽しい日を過ごすことができた。

そうして僕は。

「……会いたいよ」

彼女の涙が痛い。でも、僕はこれでも幸せなんだ。

たとえ帰りの飛行機事故で僕が死んで、二度と会えなくなっただとしても。

彼女が生きていることが、とても嬉しいんだ。

彼女はいつ、僕から離れていくんだろう。

彼女はいつかきつと、僕ではない人と将来を誓い、子どもに恵まれ、僕を忘れて、過ごすのだろう。

それでいいんだ。

僕は、僕だけが、ずっと彼女を想っている。

僕と二度と会えないとわかったその日に切った髪は、もう長いんだ。

もう一度と触れられない彼女に、僕は愛を告げる。

伝わることはない、わかっている。

経営学部 フィールドワーク

経営学部では、毎年フィールドワークを実施しています。今号では2つ紹介します。

茂木まちづくり見学ツアー

今年度から、フィールドワークが経営学部1年生の必修講座になりました。各学科それぞれ3名の教員がプログラムを考えて、学生の現地活動を引率します。これはその中の一つ、橋立特任教授による「茂木まちづくり見学ツアー」です。

8月2日、快晴の空の下、つまり炎天下でしたが、1年生30名、上級生10名が参加し、茂木町の有機物リサイクルセンター美土里館、そばの里まぎの、かぐや姫の郷竹原、そして道の駅もてぎを巡りました。それぞれ地域の方の説明を伺い、『「まちづくり」の活動が始まってからの地域の何が変わりましたか?』などの質問をしました。都会育ちの学生たちが農村の自然と温かい心に触れて、充実した1日になりました。

有機物
リサイクルセンター
美土里館



「かぐや姫の郷-竹原-」
竹の館の前で



成田空港見学会

毎年恒例となった成田空港見学会を今年も9月12日に実施しました。観光まちづくりに大切な「おもてなし」を、プロ中のプロである航空サービスの現場で学ぶというものです。空港サービスには表の笑顔とそれを支える裏の努力があります。

旅客機の運航を支える整備、気象情報の確認、フライトクルーの打ち合わせ、空港カウンターサービスの訓練など、普段は見られない厳しい準備の様子を見て、学生たちは身の引き締まる体験をしたと思います。残念ながら空港サービスの裏側は写真撮影NGでご紹介できませんが、温かく迎えて頂いたANA成田空港サービスのご厚意に感謝申し上げます。

第1ターミナル
出発カウンター前にて



展望デッキでの
記念撮影



まちづくりの世界へのご招待

新遠野物語

その参 ナヨさんの見果てぬ夢

「あやおり夢を咲かせる女性の会(以下「女性の会」)のリーダーは菊池ナヨさんです。20年前に40代になったばかりで夫を交通事故で亡くされました。

なにもかもがいやになって集落を出て行こうとしたときに、子供たちの涙に引き止められて一念発起したナヨさんは、地域の夢を描き、それを実現していくことに生涯を賭けようと決意したのでそうです。学校の先生だったナヨさんは、若い時にワークショッップの手法(KJ法)を学んだ経験を生かし、女性たちを糾合して自分たちの夢を語るワークショッップを開きました。そしてそこで出てきた夢を分類整理して農村環境の改善、地域ビジネス、女性の活動支援、イベントなどの目標を掲げ、それらの夢を実現するための活動を始めたのです。その手始めが前号で紹介した田んぼの中の公衆トイレの実現でした。

さらに廃れつつあった地域の祭りの復興にも取り組みました。賄いを仕出し弁当で済ませている状況を見て、こんなことをしているから祭りはどんどん廃れてしまうのだ。もう一度地域の結(ゆい)の力で祭の楽しさを取戻そうと考えました。そして集落全員参加で手作り料理を持ち寄り、バイキング方式で賄いをする方式を定着させたのだそうです。また盆踊りに出てくる人が少なくなってきたのを見て、各家の前に手作りの祭り灯籠を立てて、その前で家人が踊るという方式を考え出し、集落中に広がる祭りとして復活させました。

ご本人にどうしてこれだけのたぐさんのアイデアが生まれ、また実行のパワーが生まれるのかと伺ったところ、「活動が楽しくて仕方がないから。」という答えが返ってきました。「夜中に目が覚めて計画を考え出すと楽しくて眠れなくなり、その場で企画をまとめ翌朝には行動に移すんです。」と。

キャンパス散策

第4回 秋の味覚を楽しみませんか？！



キャンパスには、どなたでも入れますので、ぜひお越しください。

あります。

キャンパス内には、目を楽しませてくれる木々、香を楽しませてくれる木々、食を楽しませてくれる木々と、季節ごとにいろいろな楽しみがあります。

甘いつ実をつけこちらも自由に採って食べています。

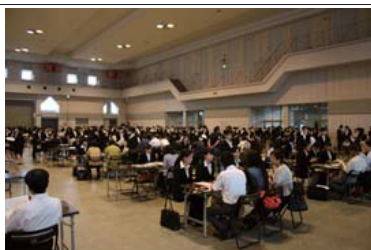
マロニエなどたくさん種類の樹木があり、学生たちは夏の暑い時は涼しい木陰でおしゃべりを、秋の紅葉時期は写真を撮ったりとちよとした公園にいるような感覚を楽しんでいます。もう一つキャンパス内には私たちに味覚の楽しみを味わわせてくれる木々があります。管理棟の北側にある「梅の木」には初夏にたくさんの実が生ります。管理棟南側には「みかんの木」があり、秋に黄色く色づくバス待ちをしている学生が甘そうな実を選び美味しそうに食べています。また、学生福祉棟の西側には「柿の木」があり、甘い実をつけこちらも自由に採って食べています。



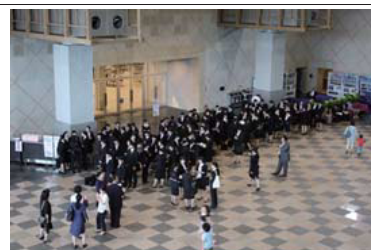
栃木県 幼稚園教諭 就職説明会

学生の希望に沿ったきめ細やかな支援で就職活動をサポートしています

7月6日(日)12時から15時まで宇都宮市のマロニエ・プラザ大展示場にて栃木県幼稚園連合会主催の就職説明会が開催されました。この説明会は、栃木県内の幼稚園が求人情報や求める人材像を受験希望者に直接説明する場であり、学生にとっては希望する幼稚園の情報だけでなく他の園の情報を知ることのできる貴重な機会です。今年は県内の幼稚園148園が参加し、501名本学幼児教育科104名の幼稚園教諭希望者が参加して各園のブースで担当者からの説明を熱心に聞いていました。



「栃木県幼稚園教諭就職説明会」風景② 真剣な表情で説明を聞いています。



「栃木県幼稚園教諭就職説明会」風景① 本学の学生が開場前に並んでいます。

26日 大学 第9回就職ガイダンス	19日 大学 第8回就職ガイダンス	15日 大学・短大 サタデーキャンパス 要予約	12日 大学 第7回就職ガイダンス	8-9日 大学・短大 作新祭	1日 大学・短大 サタデーキャンパス 要予約	2014年11月	30日 短大 ハロウィン	24-25日 短大 グループワークキャンプ	21日 大学 第6回就職ガイダンス	13日 大学・短大 ワンデーキャンパス 要予約 2014年度公開講座 要予約 全学ホール 壁面展示「シネマ・イン・ザ・シティ」開館奉迎 米山篤志氏講演会	4日 大学・短大 サタデーキャンパス 要予約	2014年10月	イベント スケジュール
-------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------	----------------------	------------------------------	----------	--------------------	-----------------------------	-------------------------	---	------------------------------	----------	----------------

夏休み中の休刊のつもりが、本号を発行するまで2か月余りかかってしまい申し訳ございません。夏休み中にもキャンパスでは様々なことがありました。オープンキャンパスには例年よりもたくさんのお客さんやご父兄をお迎えすることができました。県内の4プロスポーツとの連携による「栃木モデル研究会」も、毎回大勢の参加者を迎え盛況です。サッカーグラウンドの人工芝工事が着々と進み、いよいよ10月13日、体育の日によりオープンングセレモニーが行われる運びとなりました。そして6年目を迎えた「教員免許状更新講習」は、県内の幼稚園から高校までのたくさんの先生方に、わが大学の教員の力を見ていただく良い機会となりました。

編集後記

夏休み中の休刊のつもりが、本号を発行するまで2か月余りかかってしまい申し訳ございません。夏休み中にもキャンパスでは様々なことがありました。オープンキャンパスには例年よりもたくさんのお客さんやご父兄をお迎えすることができました。県内の4プロスポーツとの連携による「栃木モデル研究会」も、毎回大勢の参加者を迎え盛況です。サッカーグラウンドの人工芝工事が着々と進み、いよいよ10月13日、体育の日によりオープンングセレモニーが行われる運びとなりました。そして6年目を迎えた「教員免許状更新講習」は、県内の幼稚園から高校までのたくさんの先生方に、わが大学の教員の力を見ていただく良い機会となりました。

また学外でも運動部の活躍、短大生の幼稚園実習、インターンシップやフィールドワークなど学生の活動が多様に展開されてきました。これらの経験を経て一回り成長した学生たちと出会う新学期が楽しみです。

本号では、このような大学の新しい息吹を盛りだくさんに紹介しました。当初の2頁から4頁への紙面拡大が定着し、より多くの記事を掲載することができるようになりました。

「お世話になっております。不動産屋の担当スタッフが新居に引っ越したお客さんに送った挨拶状の抜粋です。」

「無事お引越しが完了したとおうかがいましてご安心しました。私の住まいも近くなりましたので、商店街などでもお会いになりますね。……」

「お世話になっております。不動産屋の担当スタッフが新居に引っ越したお客さんに送った挨拶状の抜粋です。」

「無事お引越しが完了したとおうかがいましてご安心しました。私の住まいも近くなりましたので、商店街などでもお会いになりますね。……」

「お世話になっております。不動産屋の担当スタッフが新居に引っ越したお客さんに送った挨拶状の抜粋です。」

「無事お引越しが完了したとおうかがいましてご安心しました。私の住まいも近くなりましたので、商店街などでもお会いになりますね。……」